

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	
藤本 哲 先生	おすすめメッセージ
<p>① 図書名：世界の辺境とハードボイルド室町時代</p> <p>著 者：高野 秀行 著／清水 克行 著</p> <p>出版社：集英社インターナショナル(集英社) ISBN：<u>978-4-7976-7303-6</u></p>	<p>文化人類学が始まった頃、学者たちは「未開」の地や島へ赴いて、住み込んで色々なことを調べた。文明国の昔の姿が見られるかもしれないと考えていた。この本の帯には「現代ソマリランドと室町日本、かぶりすぎ！」と書かれている。現代の辺境の地で行われている実践が、日本の中世で行われていたことと、かなり似ているようだ。これを野蛮だとか、非人道的だとか断ずるのは容易いが、現代の価値観である多様性尊重とは相容れない。つまり一言で表すのは難しいと逃げるしかない。気づきは、違いを知り比べることから生まれる。</p>
<p>② 図書名：室町は今日もハードボイルド：日本中世のアナーキーな世界</p> <p>著 者：清水 克行</p> <p>出版社：新潮社 ISBN：<u>978-4-10-354161-5</u></p>	<p>『世界の辺境とハードボイルド室町時代』がかなり話題になったのか、本書は続編的な書名になっている。「常識」って大したことないな、と思うとともに、「常識」って大したものだな、とも思う。とりあえず、価値相対化は現代においてさらに求められているので、一度くらいは目を通しておきたい。</p>